



▲牛深ハイヤ節全国大会で総合グランプリに輝いた小田克代さん

自慢ののどを競う

牛深ハイヤ節全国大会・
魚貫草刈り唄全国大会

牛深ハイヤ節の歌を競う「第15回牛深ハイヤ節全国大会」が6月27・28日、牛深総合センターで開かれ、全国各地から105人が出場しました。年代別の4部門で予選・決勝が行われ、各部門の優勝者で総合グランプリを決定。結果は、壮年の部で優勝した小田克代（大阪府堺市）さんが総合グランプリに輝きました。

また、同27日には「第1回魚貫草刈り唄全国大会」が牛深町のホテルで開かれました。この歌は、江戸時代後期に長崎から魚貫へボラ漁に来ていた漁師に恋をした地元の女性が、草刈りをしているときにその漁師に思いをはせて歌い始めたといわれている、恋の歌です。全国各地の小学生から80歳代まで138人が出場。年代別の4部門で行われ、壮年の部で優勝した福本政則（魚貫町）さんが総合優勝に輝きました。



▲魚貫草刈り唄全国大会で総合優勝した福本政則さん

秋の豊作を祈願して

高浜虫追い祭り



▲田んぼ道を練り歩く行列のようす

6月28日、天草町の高浜地区で秋の豊作を祈願する「虫追い祭り」が開かれ、地元住民など30人が参加しました。同地区振興会が、伝統文化を継承していこうと毎年行っているもの。高浜八幡宮で神事が行われた後、ほら貝や太鼓、鐘の音とともに、竹の先につけた赤や白、黄色など5色の旗をなびかせながら田んぼ道を練り歩き、秋の豊作を祈りました。

市本庁舎建設設計の最優秀者が決定！

設計業者選定2次審査



▲技術提案内容の説明のようす

7月14日、市本庁舎建設の設計者を決める2次審査が天草市民センターで行われ、最優秀者に株式会社日建設九州オフィスが選定されました。審査には、1次審査を通過した3者が参加。技術提案内容の説明や選定委員の質疑をへて、選定委員会で選定したものです。今後は、平成28年度までに設計、同29年度から同30年度まで本体工事を行い、新庁舎は同31年度に開庁する予定です。

心待ちにした海開きで大はしゃぎ！

四郎ヶ浜ビーチ海開き



▲浮き具に乗って楽しむ子どもたち

6月27日、有明町の四郎ヶ浜ビーチで海開きが行われました。シーズン中の海の安全と盛況を祈って、同ビーチ管理組合の役員など約20人が出席して神事を実施。

その後、この日を心待ちにしていた子どもたちはいっせいに海へ飛び込み、浮き具に乗ったり水しぶきをあげて走り回ったりするなど、大はしゃぎで楽しんでいました。

身が大きく味も濃厚な二江産アカウニはいかが！

アカウニ漁始まる



▲アカウニの身を取り出す作業のようす

五和町二江地区の夏の風物詩、素潜りのアカウニ漁が7月2日から始まりました。地元で“ホタウニ”ともいわれ、春にとれるムラサキウニと比べて身が大きく味も濃厚なのが特徴。この日は、約37kgのアカウニが水揚げされ、地元の漁師さんたちがとれたてのアカウニの身をていねいに取り出していました。漁は9月まで行われ、主に熊本市内や関東、関西などへ出荷されるほか、同地区の天草漁協レストランで食べることができます。

阿久根・長島・天草との友好親善

天草・長島・島原架橋建設促進三地区親善体育大会



▲剣道競技のようす

「天草・長島・島原架橋建設促進三地区親善体育大会」が7月12日、牛深総合体育館ほか7会場で開かれました。地理的・歴史的につながりが深い鹿児島県阿久根市と長島町、天草市のさらなる友好親善を図ろうと毎年開催しているもので、今年で63回目。剣道やバレーボールなど、14種目に約470人が参加し熱戦が繰り広げられました。

結果は、8種目を制した本市が総合優勝に輝きました。

元気に育ってね！

ホタルの放流事業



▲ホタルの幼虫を一斉に放流する参加者

御所浦町の嵐口地区振興会では7月12日、同地区のふれあい交流広場で「ホタルの放流事業」を行いました。御所浦小学校や楠浦小学校の児童や保護者など70人が参加。児童によるホタルの生態などの発表会の後、同広場を流れる小川に楠浦小学校の児童が育てたホタルの幼虫約1,000匹を放流しました。子どもたちは、「ホタルがたくさん飛び回る景色が見たい」と話していました。